

自己評価報告書

平成23年5月6日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究 (B)

研究期間：2008～2011

課題番号：20320134

研究課題名 (和文) アジアの軍隊にみるトランスナショナルな性格に関する歴史・人類学的研究

研究課題名 (英文) Historical Anthropology of Transnational Nature of the Military in Asia

研究代表者

田中 雅一 (TANAKA MASAKAZU)

京都大学・人文科学研究所・教授

研究者番号：00188335

研究分野：文化人類学

科研費の分科・細目：文化人類学・民俗学

キーワード：兵士・戦争・トランスナショナリズム・コロニアリズム・教育

1. 研究計画の概要

本研究の期間を4年とし、その期間内に文化人類学および歴史学的視点から日本を含む東アジア、東南アジア、南アジアを中心に活動している軍隊を、そのトランスナショナルな性格に注目して分析することを目的とする。国民によって組織される軍隊は、国民国家を構成する主要な組織である。兵士になることは、ナショナリズムの理念を体現し、真の「国民」になることを意味する。軍隊・兵士と国家、国民、ナショナリズムは密接に結びついているのである。そのような国民、兵士・男性、国家という結びつきが垂直的なものとする、複数の国家を横断する形で軍隊が水平的 (トランスナショナル) に存在することもまた事実である。このことは、一般社会においても、学術的な点からも十分注目されてこなかった。本研究の目的は、この水平的な性格を明らかにすることである。

2. 研究の進捗状況

過去3年間、1) 分担者らのフィールドワーク、2) 共同研究会、3) 関連文献の収集を主たる活動としてきた。舞鶴海上自衛隊駐屯地、海軍記念館、引揚記念館、朝霞陸上自衛隊駐屯地、浜松航空自衛隊駐屯地、エアパーク、三沢米空軍基地、米海軍横須賀基地、などの基地とその関連施設の調査を行った。また横須賀防衛大学校における調査を複数のメンバーで行った。また最近では佐倉にある国立歴史民

俗博物館にて研究会ならびに戦争展示についての調査を行っている。2009年9月には韓国ソウル周辺で米軍基地と地域住民との関係などについての調査を行った。短期ではあったが、軍隊や米軍基地について、日本と比較する機会を得て大変有益であった。これまでの発表についていくつか紹介しておく。

「軍隊の展示－博物館から航空ショーへ」
 「二つの団体の徴兵拒否運動をめぐる葛藤の事例から見えたこと」「軍事組織とストレス・ケア」「非市民兵士と市民社会」「性労働」、セックスから感情労働へ――在韓米兵相手のフィリピン女性「エンターテイナー」の場合」「沖縄渡名喜島における出砂島射爆演習場の諸問題－経済振興と宗教的世界における節合」「戦場ツアーを読む――板門店・DMZ ツアーの世界観」「在韓米軍基地統合の現場にて－韓国平沢市の巡検」などがある。研究者以外にも米軍基地の日本人雇用者に現状について話をしてもらった。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。
 分担者ならびに連携協力者がおおよそ予定通り調査を行い、個別の研究会で発表を終えた。これからはその成果を準備中である。

4. 今後の研究の推進方策

最終年度では日本文化人類学会学術大会で分科会を行う。韓国調査の報告書と4年間の成果をまとめた論文集を公刊する。また日中の戦争映画についての国際シンポにも参加する予定している。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計4件)

- ① 田中雅一、コンタクト・ゾーンとしての占領期ニッポン——「基地の女たち」をめぐって、田中雅一・船山徹編『コンタクト・ゾーンの人文学 第1巻 Problematique/問題系』晃洋書房、187-210頁、2011年、査読無し
- ② 田中雅一、運命的瞬間を求めて——フィールドワークと民族誌記述の時間、西井涼子編『時間の人類学——情動・自然・社会空間』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、115-140頁、2011年、査読無し
- ③ 小池郁子、合衆国のアフリカ王、オセイジェマン・アデフンミー大西洋をわたる「ヨルバ人」がおりなす社会運動の変容、真島一郎編『二〇世紀〈アフリカ〉の個体形成』平凡社、104-138頁、2011年、査読無し
- ④ 高嶋航、1920年代の中国における女性の断髪：議論・ファッション・革命、石川禎浩編『中国社会主义文化の研究』京都大学人文科学研究所、2010年、27-60頁、査読無し

〔学会発表〕(計2件)

- ① 小池郁子、コンタクト・ゾーンとしてのオリシャ崇拝運動——アフリカ系アメリカ人による社会運動の境界をめぐって、第44回文化人類学会研究大会、2010年6月13日、立教大学
- ② 田中雅一、文化をめぐる寛容と非寛容の対立を超えて——相対主義から省察的他者論への試みへ、第53回印度学宗教学会学術大会 大阪国際大学守口キャンパス公開講演、2010年5月29日、大阪国際大学守口キャンパス

〔図書〕(計1件)

- ① 田中雅一・船山徹編、『コンタクト・ゾーンの人文学 第1巻 Problematique/問題系』晃洋書房、2011年、総頁数282。

〔その他〕

ホームページ：軍隊に見るトランスナショナルリズム

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~shakti/trans.htm>